

報 告 う で ま く り

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

新しい時代に進んだ今こそ、 仲間とステッパアップ！

一般社団法人 福島県女性経営者プラザ

会長 安 斎 恵美子



今年は久しぶりに陽気な春となりましたね。マスクの着用は個人の判断に委ねられるようになり、コロナ禍もようやく終息の雰囲気がいよいよ始め、明るい兆しが見えてきたのではないのでしょうか。

2020年春、コロナウイルスのパンデミックという、多くの国や経済に深刻な危機をもたらした悲劇的・壊滅的な出来事から3年が経ちました。そ

の間、社会は大きく変わってきました。最近では、新しいAIの登場がニュースになっていきます。後戻りはできず、これからも新時代に向かってFJPという船は進んでいきます。そこで大事なのは、やはり会員同士の助け合いだと感じています。

日本中が沸いたWBC2023、選手全員が一つの目標に向かって必死に戦っている姿に感動し「にわか野球ファン」になった方も多いのではないかと思います（私もその一人です！）。侍ジャパンは、チームワークと協力の価値が、個人の才能や技術に勝ることを教えてくれました。

FJPもコロナ禍の3年間、会員同

◆ FJPの目的 ◆

- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

士のチームワークと団結で、withコロナに沿った事業を模索し、新しくチャレンジしてきましたね。

改めてこの3年間を振り返ると、会員の皆様は、先行き不透明な混迷が続く中、コロナ禍で生き残るために経営者としてたくさんの重要な決断をしながら会社を守られてきたのではないかと思います。外出や営業を自粛すべき時期なのか、経済活動を維持すること優先すべき時期なのか、一個人ではなく会社を背負う立場としての判断は大変厳しいものがあつたと思っております。それを乗り越えてきた私たちは、今後も発展していけると確信しております！

ところで、意思決定の研究をしているシーナ・アイエンガー博士によると、人は一日に平均70回もの意思決定をしているそうです。1年間で約2万6000回！ その中で、FJPへ「入会する」という最善の選択をして集まった仲間がここにいることをとても

● うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！

嬉しく大切にしたいと思っています。

今年度もFJPの目的である「経営者としての自己研鑽、資質向上を図りながら、異業種交流や親睦・連帯を深め、個々の経営の発展と女性経営者の立場から情報発信できるネットワークを確立する」ことを目指し、お互いに学び合い、個人もFJPもさらにステッパアップしていきましょう！



2023.1 月例会にて

10月定例会(オンライン講演会)——2022年10月4日(火)

会場: co-ba koriyama(郡山市)

誰もが調和のとれた働き方で

～起業して夢にチャレンジ～

ゲスト

(株)ケイリーパートナーズ
代表 鷲谷 恭子さん



福島県ベン
チャーアワード
優秀賞全国商
工会議所女性
会連合会「女

性起業家大賞」スタートアップ部門奨励賞などを受賞した株式会社ケイリーパートナーズ代表取締役 鷲谷恭子さんをゲストにお迎えし、起業の経緯や女性活躍推進のための取り組みについて話を伺いました。

鷲谷さんは、自分自身が出産をきっかけに勤めていた会社を退職し専業主婦になった経験から、女性にとつてのキャリアブランクがもたらす復職のハードルの高さや、家事の夫婦分担の理想と現実など、女性の再就職を阻む多様な壁についてデータ等を用いながら問題提起。出産・育児で一度仕事を手放した女性のセカンドキャリア形成に新しい選択肢を作るために「2時間で働こう」をキーワードに起業した想

いを語って下さいました。

ケイリーパートナーズは、「自由度の高い働き方」「ITの活用」「未来につながるスキル」

の3つを大切にしており、クラウドソーシングを活用してチームでワークシェアリングすることで、社員の短時間勤務や子連れ出勤、リモートワークなどの多様な働き方を実現するとともに、社員の経理やITなどのスキルアップにも力を入れているそうです。

中小企業の人材不足が課題となつていいる現代社会で、企業のバックオフィスや業務の一部をアウトソーシングすることで、女性の働き甲斐と企業の経済成長の両方を
実現するビジネスモデルを目指しています。
今後のますますの活躍に期待がかかる女性経営者だと感じました。



最近のCoolな(イける)文豪たち



山ノ井友美子

■我が家には中学2年生の娘がおります。最近娘の机の上やカバンから文豪ストレイドッグスの漫画、グッツや小説が目につくようになり、気になっていました。今まで乙女系の小説を好んでいた子が太宰治の人間失格、江戸川乱歩???

娘からは想像つかない本のチョイスなのです。友達との会話にも「中原中也が……」とか聞こえます。なにになに???

■ある時仙台に買い物に行った時の事、ショップのおしゃれな洋服や靴に目もくれずアニメイトの文豪コーナーへ一目散。その時私は知りました。日本や海外の文豪達がキャラクター化されて、その作品がゲームにもなり若者達に支持されている事を。太宰治の自作の物語をストリーにしたゲーム内容で、太宰治と敵が戦う様な感じです。ファンキーですね。芥川龍之介、樋口一葉、森鷗外:他多数。そこから娘は小説へ興味をもち始めたようです。ちなみに宮沢賢治のファ

ンだそう。この夏は岩手の宮沢賢治記念館へ行こうと約束しました。次はこの本を読もう。趣味の共有です。

■先日、オタクの聖地、池袋のアニメイトへ行きました。店内の人の多さに戸惑いながらも欲しい本を買い、フィギュアは売れ切れ。買うことができなかった様です。レジは長蛇の列で買えずにしょんぼりの帰宅となりました。日本のアニメ、漫画、フィギュア、いわゆるオタク市場は2020年には2兆円超え。海外にも誇れる程で日本の経済を支える大きな市場です。今後も伸び続けるでしょう。

＊

■以前、ゲームや携帯、iPadに夢中な子供の姿にイライラして、取り上げようかと思つた事もありました。私たちの時代と全く違う環境に戸惑いもあり、でもこれが現実と受け入れていこうと思ひます。コミュニケーションツールの変化、欲しい情報がすぐに手に入るこの状況を、親子で楽しみ共有しながら変化に対応していこうと思ひました。「オタクの世界」も意外と楽しいかも……です。



11月定例会（講演会）――

2022年11月8日（火）

場所…茶寮 おりおり（福島市）

福島官民のデジタル化推進状況について

～推進ポイントと地域企業に与える影響～

講師 福島県副知事 鈴木正晃氏



【講演要旨】

福島県総合計画は2030年度までの本の羅針盤であり、キーワードは「美味しい」と「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」――県産品の輸出货量は震災後の3倍になっている。良いものを作り、タイやベトナムなど新しい輸出先を開拓できている。これから本県の「美味しい」を力強く前に打ち出していく。

総合計画策定にあたっては対話を重視し、小学生、中学生、高校生、大学生と一緒にワークショップを開催し、子供たちや若者の意見を計画に取り入れた。

SDGsは17項目だが、福島県は18個目に「複合災害から福島を復興させよう」を掲げた。とくに再生可能エネルギーの普及には本気で取り組む。2025年までに、県内の電力使用量を再

生可能エネルギー100%を目指す。

現在は87%になっており、達成可能だと考えている。

ひと、暮らし、仕事、調和しながら3つの「シンカ」（深化、進化、新化）を徹底させる。同じことを繰り返すのではなく、リニューアルしていくことが大事だと考えている。

国のデジタル田園都市国家構想の基本的な考え方は、地方の社会課題をデジタルで解決すること。データセンターなどハード、ソフトのデジタル基盤整備、デジタル人材の育成・確保のためのプラットフォームづくり、誰一人取り残されずデジタルの恩恵を享受できる仕組みが必要。これらを受けて福島県のデジタル変革推進基本方針を定めている。

DXは目的ではなく手段。DXによって人々の生活をより良くすることが目的。

県庁を取り巻く環境としては、復興・



民間支援としては、ものづくり産業におけるDX人材育成事業、ハイテクプラザにおけるAI、IoT活用促進事業に取り組んでいる。福島県産品のオンラインストアは毎年売上が伸びており、30億円以上の売上を上げている。

再生、新型コロナウイルス感染症への対応、多発する自然災害、人口減少2040年間題などがある。2040年には143万人に減少し、働き手不足が明らか。職員の業務は増加しているが、職員数の6割が44歳以上（R3年4月1日時点）で、将来的に労働力の絶対量が不足する恐れがある。DXで対応しなければいけない。

まずは職員の意識改革と行動変容を起し、付加価値の高い行政サービスの提供、行政手続きのオンライン化、キャッシュレス決済の導入、ペーパーレス化の推進、電子決裁、RPA、AIの活用などに取り組んでいる。実際にRPA導入により、業務時間を9869時間削減できた。職員数5人程度のリソースをほかの部分に回せる。議事録作成支援システムによって、1396時間55分の削減となった。

さらに教育、産業、医療などそれぞれの分野におけるDX推進と新しい価値の創出、浜通り地域への産業基盤の構築、地方創生、関係人口の創出などに力を入れていく。

小さな成功体験を積み重ねていくことで、職員の自信・意欲が向上し、新たなDXの芽が育つと考えている。我々も民間の皆さんから学ばせてもらいながらDXに官民ともに取り組んでいきたい。

12月クリスマス例会

2022年12月6日(火)
場所…フラジャイル(二本松)



バルーンアートのアイドルたち♪

会場フラジャイルは、二本松の織井会員のお店です。コロナもちょうと落ち着いてきたので、待望のリアルでの開催となりました。安斎会長の挨拶に続き、古川顧問による乾杯の音頭が始まったクリスマス例会は大盛り上がり。美味しいお料理と飲み物で日頃のストレスも一気に発散。会員も、この日ばかりはいつもよりアルコールの量が増えたのではないでしょう。か。

クリスマスを彩る可愛いゲストも登場——「しゅちゃん一座」のバルーンアーティストのアイドルたちです。可愛い掛け声と共に次々と創り出されるバルーンアートは、ドラえもんやくまのプーさんなどのキャラクターから果物、お花など、見ていても楽しくなる作品が次々と出来上がりました。会員の皆さんも、20歳くらい若返ったかのように笑顔いっぱい交流会となりました。例年会員がそれぞれ持ち寄ったプレゼントも、今年はFJPからお菓子とお花をいただきました。



ゲット!!
しました

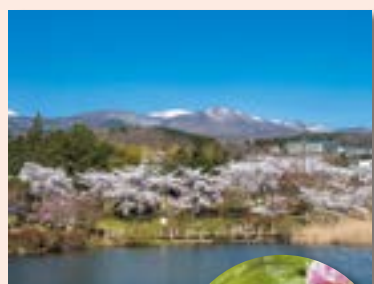
楽しい時間はあっという間に過ぎ、紺野監事の中締めでいよいよフィナーレ。会員は、別れを惜しみながら来年の再開を誓い、それぞれの帰途に着きました。



皆さんの笑顔がとてもステキです♪



お酒は飲めなくても楽しいですよ～♪



▲中央奥に見えるのが
安達太良山

▶安達太良山に
咲く花

百名山(深田久弥著作)として紹介されているのが安達太良山です。全国的には、万葉集や高村光太郎のあどけない話の中にある(阿多羅山の上)に毎日出ている空が本当の空(…)という詩で知られていると思います。いつも見ている山ですが、山容は美しく恵みをもたらしてくれる山でもあります。活火山と云うこともあり、唯温泉に入れる山小屋があります(只今建て替え中)。岳・塩沢・沼尻・横向などの温泉も恵みの一つです。伏流水は人だけでなく、田畑をも潤す私達の生活になくてはならないもの。それがうつくしま百名山です。登山が苦手の方は、ゆつくりと温泉につかって山の恩恵をご享受ください。智恵子の言う本当の空を見ながら…。

の慢
島自
安達太良山 (福島県二本松市)

23年 1月定例会

2023年1月10日(火)
場所…ネーブルシティ本宮オーヴ



▲定例会

樽川会員(右)ご結婚おめでとうございます▶

熱唱する
千年さとみさん

2023年最初の例会は雪降る中での開催となりました。コロナも大分落ちつき会員25名が出席。協議事項として、2月定例会がオンライン例会となりタブレットからZoomで行うこと、3月のまとめ例会では、各委員会で1年間の振り返りと新年度に向けての要望、抱負などを話し合う等の報告がありました。席上、会員の樽川千香子さんに会長より結婚祝いの贈呈がありました。

第2部は、郡山のアーティスト・千年さとみさんによる歌とトークショー。1曲目の「Sing」に始まり、「浜辺のうた」、「You Raise Me Up」、「千年の森〜あなたへの愛〜」、「My Way」、アンコールで「君の瞳に恋してる」の全6曲を歌って頂きました。千年さんの素晴らしい歌声に、最後は皆さん総立ちとなり最高に盛り上がりました。

千年さとみさんは、コロナ前に郡山市に千年カフェというお店をオープンしており、コロナ禍においても笑顔でお店を切り盛りされてきました。皆様も是非、お店へも足を運びください。

新会員ご紹介

有限会社 浜崎家具店
代表取締役 濱崎富美子さん
(事業委員会)



私は、建具家具職人の義父が開業し二代目として二本松市で家具店を営んでいる主人のサポートをしております。

二本松市は古くは二本松藩の城下町として建具家具職人で賑わい、家具の街として栄えてきましたが、近年では職人の高齢化や後継者問題を目の当た

りにし、この技術を後世に繋いでいきたいと思っております。

お客様の「あつたらいいな」をカタチにするお手伝いをモットーに、特注家具や特注建具製作・家具の修理やメンテナンスを主に致しております。

家族経営で少人数という事もあり対外的な活動は主人に任せておりましたが、地元の先輩の方々に「FJPは魅力的な会員の皆様でいろいろな面で楽しく勉強になるよ」とお声がけをいただき、昨年11月に入会させていただきました。皆様とのお縁に感謝し学ばせて頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

古希おめでとうございます。

長尾千代美さんの古希の祝いが11月26日に郡山市のビューホテルアネックスで開催され、FJPからも安斎会長をはじめ理事数名が出席させていただきました。たくさんの方がお祝いに駆け付け盛大なものとなりました。

長尾さんから70歳にして今後10年先を見据えたご挨拶があり、益々精力的に活動をしていかれる旨、私達も見習わねばならないと感服した次第です。

これからもFJPの仲間と共に元気で過ごしてください。おめでとうございます。



息子さんから花束のプレゼントを受け取る長尾さん

2月定例会(オンライン)

2023年2月7日(火)

会場: ooba koitama (郡山市)

※会員に聞く※

◆菊池美保子会員(株環境分析研究所)

◆菊池 夏帆会員(株中郷屋)

進行: 安斎恵美子会長

●菊池美保子会員——



子供の頃は音大に行くことを考えていたが、後継ぎなので臨床検査技師になるため進学をした(西武球場に行きたくて学校を決めた)。福島県立医科大学でヤツメウナギの研究に没頭していたが卒業3年目に現在の会社に入社した。

社業は、大腸菌・レジオネラ菌などの様々な検査が主体となるが、その時々で変わる。原発事故の際の放射線・コロナの抗原検査等がある。

ありがたいと言える職種ではないが、今後は社員が楽しく仕事ができるように皆がやりたい事をやりつつ報酬を頂くようにしたい。

震災後、大人が皆次世代に押し付け

●菊池夏帆会員——



進学が決まっていたその年に父が亡くなり、母を一人にできないとの思いで

郡山から大学院に通った。

突然で何も継承されず二足の草鞋を履いてたいへんだった。

社業はお茶の販売(ブレンド茶も含む)・舗装工事業。今後は自身でプロ



スタジオから Zoom で発信

ている(中間貯蔵・放射性物質等々)。子供の健やかな成長と豊かな自然を残したい。先送りするばかりでなく、何かのヒントを残していきたいと思う。

デュース・企画をして、郡山の米を使用してお菓子を作りたい。お茶カフェなど新規に目を向けていきたい。

大切にしていることは、子供の頃の思考を忘れない(自分らしく、柔軟に、捉われず、好奇心を持って取り組む)。

FJPでは女性ならではの悩みを聞いた事がとてもよかった。これからも、そうした部分を共有し、助けられる事があれば助けになりたい。



現場で参加した会員と共に

新入会員募集中!!

FJP は、会って 語って 学んで
ホットな交流のひろばです

トライ&チャレンジ精神
の豊かな仲間たちが、
あなたをお待ちして
います。



■問合せ先

☎ 080-2671-8966

<http://fjp-net.com>



我が家のアイドル!



Love Love 中



3月まとめ例会

2023年3月7日(火)
場所…茶寮おりおり



総務委員会

FJ P 22年度最後の例会は、各委員会(総務・事業・交流広報)ごとに一年を振り返り、今後の活動についての意見交換が行われました。コロナによる会合の規制も大分緩和されたこともあり、それぞれの委員会では積極的な意見とともに時代を反映した事業方針なども提案されました。その後の発表では、各委員会からの要望・タブレットの有効活用・事業方針・外部への情報発信などさまざまな意見が述べられ、次年度の事業についても有意義な意見



交流・広報委員会



事業委員会

が寄せられました。23年度も会員の力を結集し、活発な活動を行っていくことを期待したいと思います。

鶏大国ふくしま!

3大ブランド鶏

福島県では会津地鶏、川俣シャモ、伊達鶏の3種のブランド鶏が生産されています。一つの県にブランド鶏が3種もあるのは珍しく、福島県は鶏大国と言えるのではないのでしょうか。今回は、福島県が誇る3大ブランド鶏の違いを紹介します。

①会津地鶏 —— 長くて黒い尾羽を持つ鶏。ぷりぷりとした歯ごたえ、脂の甘味、肉のほのかな酸味が特徴。焼鳥、鍋料理などどのような料理にも合います。



②川俣シャモ —— 川俣で養蚕が盛んだった頃の闘鶏の歴史から地元で飼育された。深いコク、適度な弾力の肉質、噛めば広がる鶏本来の旨味が特徴。



③伊達鶏 —— 希少な赤鶏の系統で自然に近い環境で飼育されるため凝縮された旨味が特徴。どんな料理にも適正し、程よい弾力と調理を引き立てる旨味が特徴。



FJ Pのゴルフ仲間で活動している『きらめき会』は、現役会員だけでなく、OG会員も多数在籍している歴史ある会です。
この度、ジャンケンでこの会の会長を仰せつかった菊池美保子です。スコア120のまったくの素人でご迷惑をお掛けしますが何卒よろしくお願いいたします。



下手でも十分楽しめるように「オネストジョン方式」でのラウンドも実施しています。これは最初に自分と今日の目標スコアを申告し、そのスコアに最も近い人が一位になれる方式です。
毎回、小山美和事務局長が様々なゴルフ場を手配して下さり、これからのシーズンには、ほぼ毎月活動していきます。ゴルフをされる会員の皆さまのご入会を心からお待ちしております。



各委員会 活動報告



◆総務委員会

総務委員長 菊池 美保子



総務委員会では、理事会・定例会の次第作成、メールでご案内、出欠の確認、会場への手配、資料準備、出席者確認、司会、議事録作成、会計事務を毎月行っています。

その都度、永峯・佐藤副委員長と「LINE」で連絡を取り取り合っています。「出欠の連絡が来ない!」「食事の人数が確定できない!」など気がつけば『未読のメッセージが40です』なんて事が良くあります。メッセージの入力が追いつかなくなると結局、入力の違いから「LINE」電話に切り替えて直接話をしてしまいます。普通の電話と違って3人同時に話ができるので話が早くて助かります。

毎回、こんなやり取りをしながら定例会が開催されていますが、これからは、タブレットを活用したご案内や出欠確認が実施されるようになります。

で、タブレットの充電を忘れずに定期的に確認をお願いします。そして、定例会の連絡が来たら速やかに出欠のお返事をお願いします。

今後ともスムーズな運営を心掛けて参りますので皆さまのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

◆事業委員会

事業委員長 会田 和子



ツバメをみる。暖かい春と幸運を運んできたようで頬が緩みます。桜の時期、事業委員会が最も

緊張します。一年の活動を総括し、新年度事業を大まかに決めるという作業があるからです。皆さんの様々な声を聴き、要望の講師等の情報を収集し、依頼可能性を検討し、計画案を作る。3月に福島市若葉山で開催された合同委員会でラフ案を検討して頂き、方向性も固まってきました。

事業委員会は総勢14名。日々本業に奮闘する中で、委員会活動にも皆さん積極的、楽しい会にしてくれています。心から感謝です。新年度も幸せな活動を目指して、パワーアップしてまいりたく、宜しくお願いいたします。

◆交流・広報委員会

交流・広報委員長 長沢 美起子



今期はコロナを避けつつ何とか委員会を開催致しました。樽川委員の結婚お祝い会等ワイワイと過ごすことが出来ました。

委員会の役割分担等まだまだの面があり、来年度はプレスリリースの見直し、会員拡大の方法を具体的にしていく事が課題です。それと同時に会員の皆さんと共有していくことが必要かと思えます。

今年もうでまくり原稿をお寄せいただき有難うございました。来年度も会員拡大と共に宜しくお願い致します。

編集後記

今年は、例年より桜の開花が早いようです。何気ない日常ではありますが、地球温暖化を感じざるを得ない今日この頃です。農家の方が以前、福島でそのうちマンゴーでもとれるようになるのではないかと語っていた事が思い出されます。私達それぞれが、日常の中で少しの努力で何とかこのかけがえない地球を守る事が、未来の子供達への最大のプレゼントではないでしょうか。

環境問題が提起されておりますが、身近なものから取り組みたいものです。福島のこの豊かな自然と食の美味しさを守るためにも…。(長沢)

事業・総務 合同委員会

3月15日に開催された合同委員会は、定時総会の役割分担や次年度の事業計画について活発な意見交換がなされました。

会場となった福島市の「ちゃんこ若葉山」は、大相撲で活躍中の若隆景・若元春・若隆元の大波三兄弟のご実家で、美味しいちゃんこ鍋をみんなで堪能しました。

三兄弟のお母さんである女将さんから小さい頃のお話やそれぞれの性格の違いなどをお聞きしながら楽しいひと時を過ごしました。

会員の皆さまにも地元力士の活躍と大相撲の世界を楽しんでいただきたいので、女将さんに定例会でのご講演をお願いしました。

皆さま乞うご期待!